



# 第5回 けいはんな広報ネットワーク講演会

## 「伝える」ことと 「伝わる」こと

### —東日本大震災の被災地から考える—

広報の肝は、「伝えたい」ことが受け手にきちんと「伝わる」ことです。新型コロナウイルスが世界を揺るがせて2年余。この間、コロナ対策を打ち出す各国の政治リーダーの「伝えたい」ことが国民にしっかりと「伝わった」かどうか、その「メッセージ力」の差が話題になりました。「伝える」と「伝わる」。ひと文字違いですが、その溝は深く、時に生命を左右します。極限状況の東日本大震災を通して、「伝える・伝わる」を皆さんと一緒に考えます。更に、広報の延長線上にある「けいはんな学研都市」のブランド化にも迫ろうと思います。

会場&オンライン  
ハイブリッド開催



齊藤 修 氏 プロフィール

京都市出身。立命館大学卒業後、京都新聞社に入社。編集局長などを経て主筆、編集本部長として言論・報道部門を統括。平成20年に京都新聞社代表取締役社長に就任、22年から同社相談役、京都新聞ホールディングス相談役、同顧問。

京都のメディア関係者と市民がメディアのあり方について忌憚なく意見交換する場である「京都メディア懇話会」の理事長を昨年まで務めた。

2月24日(木)  
14:00 ~ 15:30

講師：齊藤 修 氏



リアル会場：

けいはんなオープンイノベーションセンター  
3階会議室

(京都府木津川市木津川台 9-6 TEL:0774-66-7545)

なるべく公共交通機関をご利用ください。

JR 学研都市線「祝園」駅・近鉄京都線「新祝園」駅・  
近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘」駅から奈良交通バス「公園東通り」  
下車

お申込みはホームページから

[https://www.kri.or.jp/contact/entry/network\\_05.html](https://www.kri.or.jp/contact/entry/network_05.html)

申込み締切：2/18(金)

けいはんな広報ネットワーク事務局  
((公財) 関西文化学術研究都市推進機構)

お問合せ：TEL 0774-95-5105

(担当：小川)

